

2013年6月20日

秋田市中心市街地アートによる賑わいづくり実行委員会
事務局／秋田市大町3丁目1-12 川反中央ビル・コラボラトリー内
TEL/FAX 018-866-1559
Eメール machi-muse@akita-art-project.net
HP <http://akita-art-project.net/>

報道機関各位

「あきたアートプロジェクト」概要発表 秋田市中心市街地でアートイベント5件展開、8月から

アートによる秋田市中心市街地の活性化に取り組む「秋田市中心市街地賑わい創出文化プロジェクト」(会長・佐々木清)は、本年度の事業5件を8月～11月に開催することをお知らせいたします。

(1) 仲小路ミュージアムストリート

【日時】8月3日(土)～6日(火) 【会場】仲小路(秋田市中通)

(2) まちなかミュージアム「千秋公園の精霊たち(仮称)」

【日時】10月12日(土)～11月6日(水) * 予定 【会場】千秋公園・お堀(秋田市千秋公園)

(3) 3Dプロジェクションマッピング「秋田幻燈夜2013 ～イマジナル・マッピング・ナイト～」

【日時】10月11日(金)～13日(日) 【会場】新秋田県立美術館壁面(秋田市中通一丁目4-2)

(4) 秋田公立美術大学教員との連携プロジェクト

「時花 トキハナ ～秋田公立美術大学 新任教員14の挨拶状～」

【日時】10月12日(土)～11月6日(水) 【会場】秋田市中心市街地(会場は後日発表)

(5) 文化力の結集 県内アーティストの紹介「あきたの美術2013」

【日時】11月2日(土)～6日(水) 【会場】アトリオン展示ホール及び地下イベント広場

【写真素材提供】

広小路商店街・千秋公園前で撮影した関係者30名の集合写真をお送りします。

事務局 (machi-muse@akita-art-project.net) までご連絡ください。

<本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先>

コラボラトリー
秋田市大町3丁目1-12 川反中央ビル1F
電話:018-866-1559
メール:machi-muse@akita-art-project.net
* 月曜・火曜定休

秋田県観光文化スポーツ部 文化振興課
秋田市山王3丁目1-1
電話:018-860-1530
* 土曜・日曜を除く

「あきたアートプロジェクト」とは…

あきたアートプロジェクトは、誰にとっても身近な場所での展示やイベントを通して、アートの裾野を広げ、にぎわいを生み出し、街の魅力を高めていくプロジェクトです。

これまで、街を舞台にした多様な表現で地域の特徴を露わにする「あきたまちなかミュージアム」、街の資源を発掘・共有するカリキュラムを組んだ「あきたまちなか大学」といったプログラムで、土地と人、人と人をつなできました。

地元商店街、まちづくり団体、秋田公立美術大学、秋田市、秋田県などで組織する実行委員会は、2013 年も引き続き官民の垣根を超えた取り組みで、秋田の街という広大なキャンパスに豊かな人の輪を描いていきます。

2011・2012 年度の 2 年間取り組んできた、県内で活動するアーティストの発掘・育成支援を踏まえ、今年度は、これまでに構築したアーティストネットワークを活かし、さらに、9月の新秋田県立美術館の本オープンや「国民文化祭・あきた2014」プレイベントとの相乗効果も視野に入れながら展開します。

商店街やストリート、野外広場や建築物等、エリア全体をアート空間として「アートによる街のにぎわいづくり」に取り組み、官民の垣根を超えた「文化芸術によるまちづくり」を推進してまいります。

【開催概要】

- <主催> 秋田市中心市街地アートによる賑わいづくり実行委員会
会長 佐々木清・秋田市広小路商店街振興組合理事長
- <会期> 第1期 平成25年 8月上旬（竿燈期間中）
第2期 平成25年10月～11月上旬（秋田DC期間中）
- <会場> 秋田市中心市街地

プロジェクト1

●仲小路ミュージアムストリート【継続】

- タイトル 調整中
- 日 時 平成25年8月3日（土）～6日（火）
- 場 所 仲小路（秋田市中通）

秋田市中心市街地の商店街と連携し、竿燈まつり期間中約7万人のお客さまへアートを切り口とした”おもてなし”を実施。竿燈まつりの4日間、新秋田県立美術館と千秋美術館の2つの美術館を結ぶ仲小路通りを「仲小路ミュージアムストリート」と命名。秋田のアーティスト達が商店街の皆さんと一緒に県内外のお客さまをアートでおもてなし。夏祭りに湧く秋田の街をあざやかに彩ります。

- ① ストリートアート
秋田県在住のアーティストからなるグループ「doek（ずっく）」のメンバーと、中学生・高校生によるストリートでの公開制作とワークショップ。日頃身につけた感性と、大人顔負けの技術で公開制作を行い、仲小路の通り全体をアートでにぎやかに演出していきます。
- ② ストリートライブ・おもてなし屋台
仲小路振興会のみなさんが企画し、秋田在住のミュージシャンによるアコースティックライブや、趣向を凝らした秋田の食屋台でおもてなしいたします。



昨年度の様子

プロジェクト2

●まちなかミュージアム

○タイトル「千秋公園の精霊たち（仮称）」【継続】

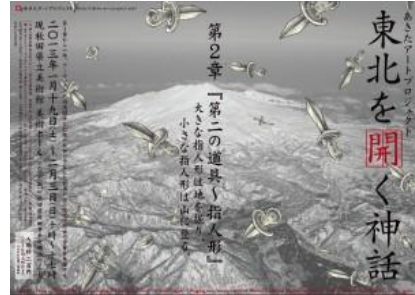
○日時 平成25年10月12日（土）～11月6日（水）*予定

○場所 千秋公園、お堀（秋田市千秋公園）

過去2年間、県内のアーティストとともに「東北を開く神話」を展開した本県出身のアーティスト、鴻池朋子氏ディレクションによるプロジェクト。オープンから1年がたち、にぎわいをみせるエリアなかいちの向いにある閑静なエリア、千秋公園とお堀を舞台として、そこを「通常とは逆の発想が成立する」場として、野外展示やパフォーマンス、マーケットを展開します。



23年度 東北を開く神話 第一章



24年度 東北を開く神話 第二章

プロジェクト3

●3Dプロジェクションマッピング【継続】

○タイトル「秋田幻燈夜2013 ～イマジナル・マッピング・ナイト～」

○日時 平成25年10月11日（金）～13日（日）

○場所 新秋田県立美術館壁面（秋田市中通1丁目4-2）

プロジェクションマッピングとは、建造物や自然物等の立体物に高輝度のプロジェクターを使って映像を投影する最新のアート表現手法です。映像は、投影される対象物の大きさや形状を3DCGで立体的に再現したものを元に作られます。そのため、見る側の錯覚により、投影された立体物が変形したり、本来あるはずのないものが突然出現したりするなど、仮想と現実が入り混じった不思議な映像体験を演出することが可能です。

今年も昨年に引き続き、新県立美術館外壁のお堀側2・3階の部分（縦約9m、横約50m）を巨大屋外スクリーンとし、秋田をテーマにした東北最大規模の幻想的な映像を投影します。



昨年度の様子

プロジェクト4

●秋田公立美術大学教員との連携プロジェクト【新規】

○タイトル「時花 -トキハナ- ～秋田公立美術大学 新任教員14の挨拶状～」

○日時 平成25年10月12日（土）～11月6日（水）

○場所 秋田市中心市街地（会場は後日発表）

本年4月から4年制大学となった秋田公立美術大学の新任教員による作品展。ニューカマーとして、新任教員の心境と抱負、そして今後大学が地域との連携を行うにあたっての姿勢を「視覚的」に表明するとともに、参加教員の個性が顕在化する方法で紹介します。

同教員14名それぞれが選んだ「花」と自身の「身体」を地域の「写真館/写真スタジオ」でフォーマルに撮影し、インスタレーションとして展示します。

プロジェクト5

●文化力の結集 県内アーティストの紹介

○タイトル「あきたの美術2013」【継続】

○日時 平成25年11月2日（土）～6日（水）

○場所 アトリオン展示ホール及び地下イベント広場

県内の若手から美術指導者まで、平面作品、立体作品、デザイン分野など、経歴や世代を超えた様々なアーティストの作品を展示します。県展受賞者や中央展出品レベルの作品を多く配置することで、高いレベルの作品鑑賞機会を県民の皆さんに提供します。